

安田 凌汰

僕が住んでいる地域では4月と9月にお祭りがあります。4月は豊作祈願のお祭りで、9月は収穫に感謝するお祭りです。

お祭りの時は、地区ごとに役割が決まっています。僕の家は獅子舞を舞うことになっています。

8月から僕は父と二人で獅子舞の練習をしてきました。僕の父も祖父と二人で獅子舞を舞っていたそうです。練習を始めたころは、なかなか動きを覚えきれず、苦勞しました。テンポが遅い曲は僕が前を、テンポが速い曲は父が前を担当することになりました。本番はきちんと舞うことができるか不安でした。

9月に入り、他の地区で太鼓を担当している人たちと合同練習をすることになりました。太鼓のリズムがあると、とても舞いやすくなりました。

お祭りの当日はとても天気がよく、暑かったです。昼過ぎから神社をハケ所まわりました。行く先々で、地区の人達が神社で待っていてくれました。そして父と二人で獅子舞を舞うと、みんなが拍手をしてくれました。緊張したけれど、練習を頑張ってきてよかったと思いました。

また、道沿いの家々の玄関に入り、地域の人たちの頭を獅子で噛みました。地域の人たちも喜んでくれたので、僕も嬉しくなりました。

来年は今年よりももっと上手に激しく舞いたいです。